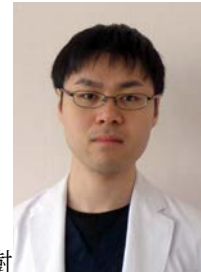


## 和歌山病院での研修を終えて



小浴 秀樹

研修医 2 年間の最後の 3 月に研修させていただくこととなりました。和歌山病院は、学生時代に 3 度実習でお世話になっており、いらっしゃる先生方のお優しい人柄も幾分存じ上げておりました。入局直前、ある意味モラトリアムの最後に、勝手知ったる優しい病院での研修ができる、、、とポジティブな印象をもって開始することができました。

研修環境としては、医局に大きなパーテーションで区切られた個人机と収納棚、インターネット環境は有線・無線ともに用意されており、宿舎は平屋で 1 DK (6 畳? × 2 部屋)、部屋の前に駐車場があり、調理器具や冷暖房・ベッド等設備充実しており、足りないものは布団と部屋でのネット回線ぐらい、といった具合でした。ロケーションとしては和歌山市内から高速使用で 1 時間程度の位置にあり、すぐ近くに飲食店は少ないですがローソンはあります。飲食店街や大型スーパーのある御坊市の中心まで車で 10 分もかからないため、自動車があれば生活に不自由はありません。

研修内容ですが、呼吸器内科として病棟・外来業務を行います。休日出勤や当直はありません。私が 2 年間研修してきた中で救急外来のファーストタッチは経験がありますが、専門外来を担当したのは初めてでした。外来は新患が来れば連絡をいただいて向かい、診察、鑑別を挙げ、ご指導いただきながらオーダーを行っていきます。一人の外来患者に十分な時間をかけて行えるので、救急外来のような慌ただしさや、やり残しもありませんので、外来トレーニングを行うには恵まれた環境です。入院、帰宅、外来フォローの判断、入院となれば主治医で、外来フォローも自分の外来枠で行えるため、研修医より一歩先んじている感覚を体験できると思います。入院患者の疾患としては肺炎が主となってきますが、高齢化の進んだ地域であり、基礎疾患のコントロールも必要となります。紹介他科としては、循環器内科、神経内科、外科、放射線科があり、どの先生も親切な方々ですので、コンサルトは非常にしやすい環境です。私が経験できた手技としては、気管支鏡、胸腔ドレーン挿入、CV 挿入、CV ポート作成、胸腔穿刺、腹腔穿刺、等々ありました。胃瘻の作成も外科の先生にご指導いただきながら行っています。各検査科の技師さんもベテラン揃いでした。よく細菌検査室には足を運び、グラム染色の実施や解釈を教えていただきました。心エコーや腹部エコーなども見学希望であればコールしてもらえます。また、和歌山病院は和歌山県下で唯一結核病棟のある施設であり、主治医として結核診療を学ぶことが

できます。結核診療は長期間にわたるため、1 か月間の研修期間ですべてのフェーズを体験することは困難ですが、この施設でしか経験できないことであり、結核がまだまだ多い和歌山や大阪地域では意義のあることだと、研修前から今に至るまで感じております。総じて、診療に集中しつつも自分の時間は十分確保できる、クリーンで充実した研修期間でした。

最後となりましたが、この研修を支えていただいた南方院長、駿田副院長、熱心にご指導いただいた川邊先生、東先生はじめ医局の全先生方、秘書さん、病棟、外来スタッフの方々に、感謝の言葉を述べさせていただきたいと思います。1 か月間本当にありがとうございました。